

平成二十年度

しまみち

～人々の快適な生活を創造する～

島道

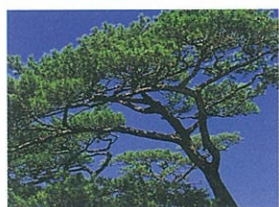
沖縄県

目次 - C O N T E N T S -

目次



県章



県木／琉球松



県花／デイゴ



県鳥／ノグチゲラ



県魚／グルクン

沖縄県の概況 1

位置・地勢……………	2	歴史……………	5
気候風土……………	3	全国からみた沖縄県……………	6
人口……………	4		

沖縄県の都市計画 7

都市計画とは?……………	8
都市計画の進め方は?……………	9
都市計画区域とは?……………	10
マスタープランとは?……………	10

街路事業と都市計画事業認可 11

都市計画街路事業……………	12
街路事業の施行者……………	12
街路事業と道路法……………	12
都市計画事業認可……………	13
都市計画街路事業認可手続きの流れ……………	14

これならわかる！ 沖縄の街路整備なんでもQ&A 15

沖縄県の街路事業 19

真地久茂地線外1線……………	20	パイプライン線(宜野湾)……………	26
龍潭線……………	21	県道24号線バイパス……………	27
県道153号線外1線……………	21	城通り線……………	27
県庁前線外1線……………	22	伊差川線……………	28
新都心牧志線外1線……………	22	市場通り線……………	28
小禄名嘉地線……………	23	下里通り線外2線……………	29
小禄名嘉地線外1線……………	23	真栄里新川線……………	29
豊見城中央線外1線……………	24	石嶺線……………	30
糸満与那原線……………	25	石嶺福祉センター線……………	30
南風原中央線……………	25	牧志壺屋線……………	31
胡屋泡瀬線……………	26	首里金城地区……………	31

街路事業箇所一覧 32

街路事業箇所一覧……………	32
事業箇所都市計画決定状況一覧……………	33



位置・地勢

日本の南西に浮かぶ島じまは、「アジアの玄関口」。

本県は、九州から台湾にかけて弧状に連なる島々・南西諸島の、南半分を占める琉球諸島からなります。北緯24～28度、東経122～132度の位置に、大小あわせて約160（うち有人島49）の島々が、東西1,000km、南北400kmという広大な海域上に点在しています。

最も大きな島は沖縄本島で、次いで西表島、石垣島、宮古島と続き、この4島で県土総面積2,274.59km²のうちの約8割を占めています。また、県土総面積は全国総面積の約0.6%で、全国第44位に該当します。

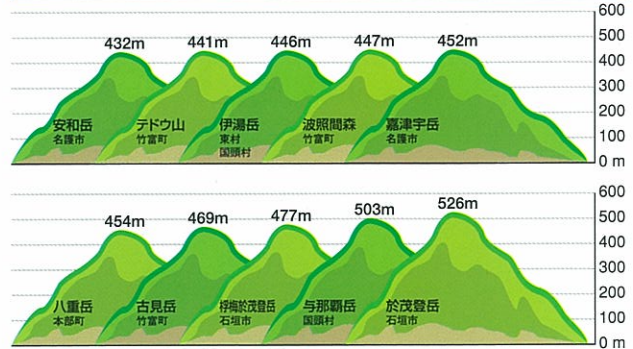
県都那覇市から1,000km以内にある主な都市は、福岡、台北、上海で、1,500km以内にある主な都市は、大阪、ソウル、香港、マニラなどがあります。こうしてみると、沖縄を中心に日本、中国、アジアを取り囲む円心図が浮かびあがってきます。

本県の地形の特性をみると、最も高い山で石垣島の於茂登岳526m、沖縄本島では北部の与那覇岳503mと、低山性の小起伏山地を形成しています。県土面積も小さく、丘陵地や台地・段丘が県土の大部分を占めています。

河川は、大小あわせて300余ありますが、島の地形が南北に細長く東西が狭いため、流路延長が短く急流となっているのが特徴です。

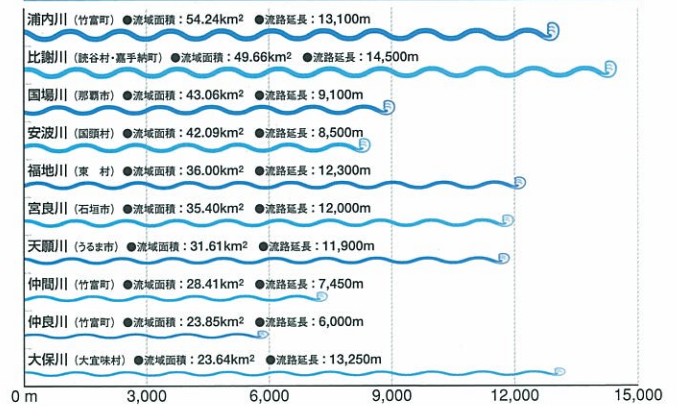
沖縄県の山岳

資料：国土地理院等

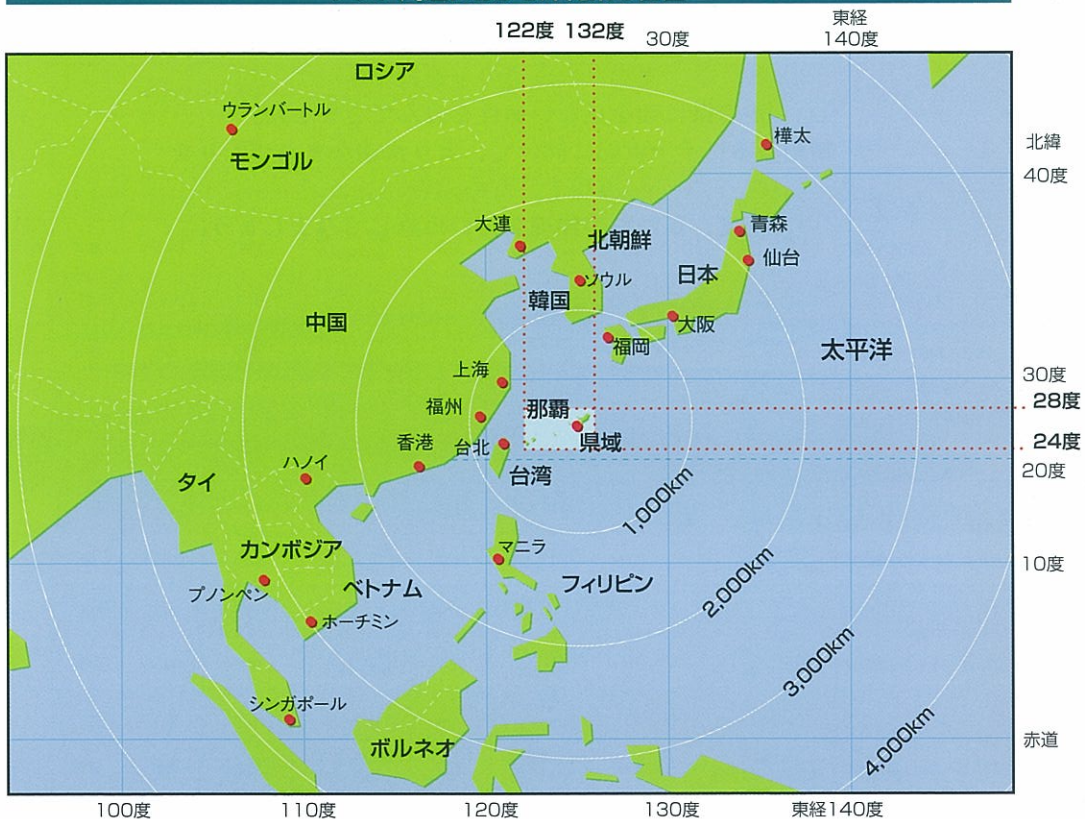


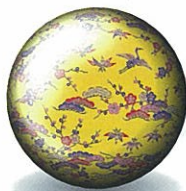
沖縄県の河川

資料：県河川課



アジア周辺における沖縄県の位置





気候風土

貴重な動植物が息づく、“東洋のガラパゴス”。

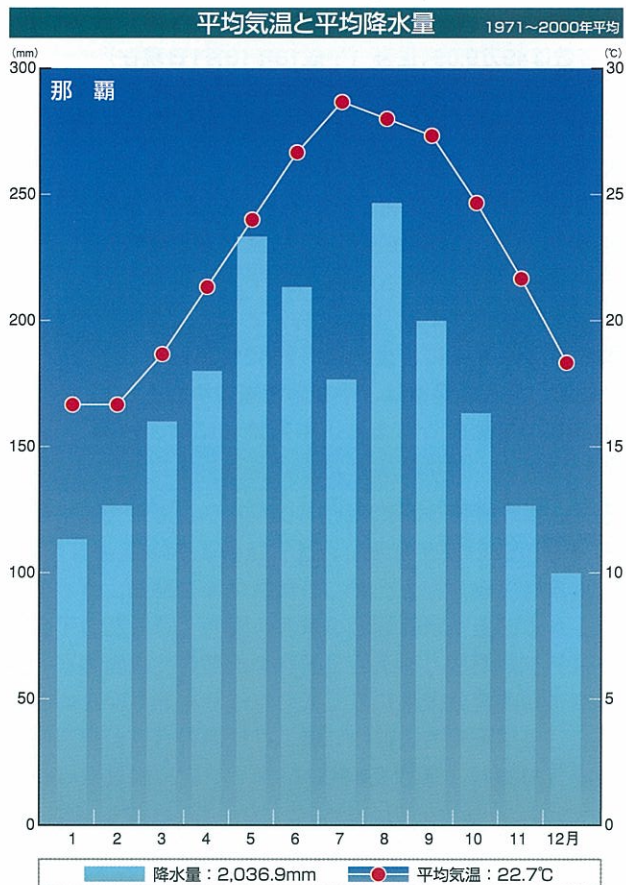
本県はわが国で唯一、亜熱帯海洋性気候であり、年間平均気温は20℃～25℃、冬季でも16℃～18℃で、最低気温が10℃以下になることはごくまれな常夏の島です。

年平均降水量は約2,037mmで、全国平均の1,618mmを26%上回っており、全国でも比較的雨量の多い地域となっております。

また、沖縄は台風の常襲地としても有名です。過去55年間に発生した台風1,468件のうち、その約4分の1にあたる407件が沖縄に接近しており、特に7月から9月までにその大半が集中しています。

日本でも有数の島嶼県である本県は、周辺海域にはさんご礁が発達し、島々には亜熱帯特有の動植物が生息しています。中でも、熱帯・亜熱帯特有の景観を呈する西表島仲間川のマングローブ林、古見のサキシマスオウノキ群落をはじめ、国頭村安波のタナガーグムの植物群落など、126カ所の植物群落が天然記念物の指定を受け、観光資源として貴重なだけでなく、学術的にも高い評価を受けています。

動物ではイリオモテヤマネコ、カンムリワシや、一属一種のノグチゲラなどの国指定の特別天然記念物、県・市町村指定を含めると総計43種の天然記念物が生息しており、一都道府県でこれほど多くの貴重な生物を擁する地域は、他には例がありません。



資料：「沖縄県勢のあらし」（平成19年2月）



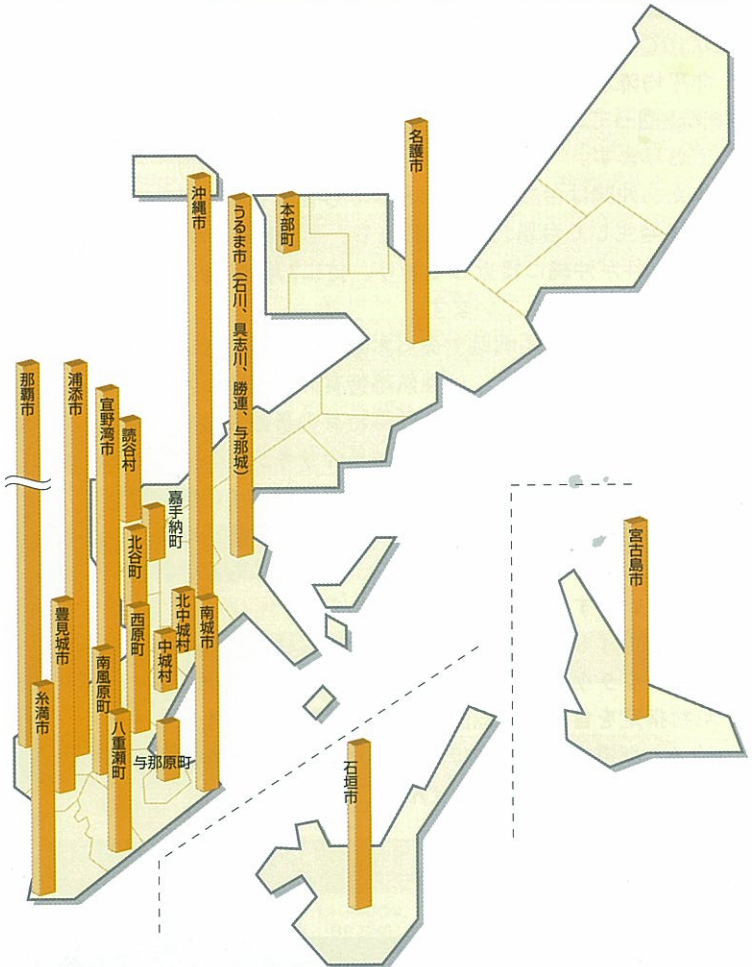


人口

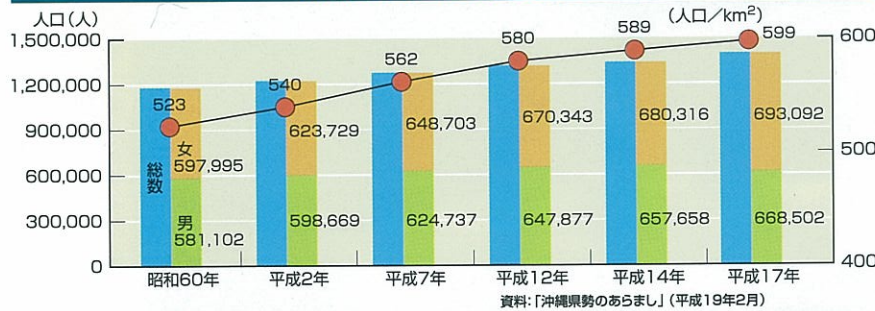
中南部に集中する130万県民。

11市11町19村からなり、人口は136万8,137人、世帯数は49万9,094世帯（平成18年10月1日現在）となっております。県内の地域別人口は平成17年10月1日現在（国勢調査）、北部地域12万8千人（構成比9.4%）、中部地域57万9千人（同42.5%）、那覇市31万2千人（同22.9%）、南部地域22万2千人（同16.3%）、南部離島地域1万5千人（同1.1%）、宮古地域5万5千人（同4.0%）、八重山地域5万1千人（同3.8%）となっており、本島中南部地域に、全人口の約82%が集中しています。県都那覇市は、中南部地域の中心として30万都市を形成し、また、中部地域には、沖縄市が12万人、合併により誕生したうるま市が11万人、浦添市も10万人を超えており、中核都市を形成しています。

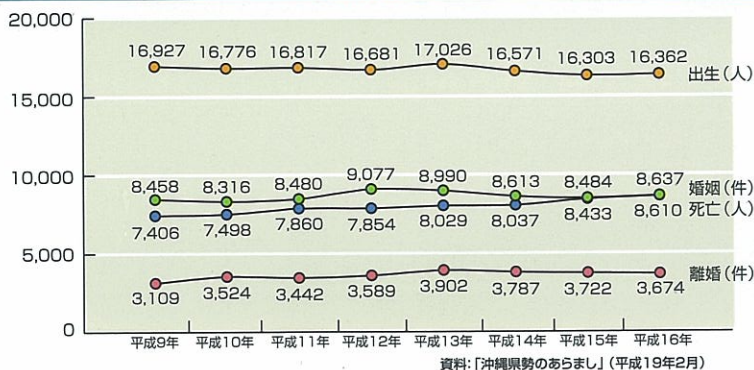
人口の分布



人口および人口密度の推移



人口の形態





歴史

琉球王朝、ヤマト世、アメリカ世、そして新生沖縄…。波乱に満ちたその足どり。

沖縄史のはじまり

実際に沖縄の島々に人が住みはじめたのは、今から約3万年前以上も前の旧石器時代のことである。

旧石器時代の次に来るのが、日本の縄文時代や弥生時代に相当する貝塚時代である。この時代の後期の遺跡からは、縄文式土器や弥生式土器とともに、紀元前2～3世紀に中国で流通した明刀銭が出土している。この時代にすでに日本はもちろん中国との交易があったといわれている。

グスク時代

人々が稲を栽培し、鉄製農具を使い、集落を形成したのは、グスク時代といわれる時期である。10～13世紀頃には、按司（アジ）と呼ばれる小領主が現れ、城（グスク）を築き領地を定めるようになった。14世紀には、領地をめぐる按司間の争いが始まり、やがて沖縄本島に北山、中山、南山と呼ばれる小王朝が生まれた。察度王の中山を始めとしてこれらの王朝は、相次いで中国の明に入貢している。

琉球王朝の成立

三山を統一したのが本島南部の佐敷より興った尚巴志で、王城を浦添から泊や那覇港を抱える首里に移し、第一尚氏と呼ばれる王朝を樹立した。

第一尚氏王朝が滅んだ後、第二尚氏王朝がこれに代わった。第二尚氏王朝は、尚真王の時にその黄金時代を迎えた。王朝の版図を奄美地方から宮古・八重山地方まで拡大し、各地の按司を首里に集め、身分制度を定めて統治制度を確立した。また、明国との朝貢貿易を拡大し、南方のシャム、マラッカとの交易も行っている。その他寺院の建立を始めとした各種の土木工事をを行い、また各種の芸能芸術を奨励している。「おもろさうし」が編纂され始めたのもこの頃である。

薩摩の侵攻

しかし、日本における幕藩体制の確立にともない、琉球王朝にもその影響は及び、17世紀の初頭、九州の薩摩藩が侵攻し、琉球王朝は薩摩藩の支配下に置かれることとなった。その結果、奄美諸島が薩摩に割譲され、貢租が義務づけられ、また外国との貿易が統制されることになった。このため、王朝存続の基盤を内政に求めざるを得なかったこともあり、向象賢や蔡温などの優れた政治家が現れた。また、流入した日本文化の影響で、文化、芸能が発達したのもこの時期である。

明治から昭和へ

日本でペリーの来航を契機にして明治維新を迎えると、明治政府は琉球と中国清との外交関係を断ち、沖縄県を設置する「琉球処分」を断行し、400年続いた琉球王朝は、形式的にも終わりを告げた。こうして沖縄も近代日本の体制に組み込まれることとなった。昭和7年政府は、これまで沖縄県からの国税の徴収額に比べ、沖縄県への施策の投資額が過小であったのを改め、沖縄県振興事業計画を策定し、翌年度から実施したが、これも戦争のため中止された。

戦後の沖縄

太平洋戦争末期の昭和20年4月に米軍が沖縄本島へ上陸、3か月にも及ぶ地上戦が行われ、およそ20万余の戦死者を出した。敗戦により沖縄は、本土と切り離され米軍の統治下に置かれ、沖縄の各地に米軍基地が建設されるなど「軍事優先」の苦難な時代を迎えた。昭和28年沖縄を日本から切り離すサンフランシスコ条約が発効したが、沖縄県民はこれに反対し、激しい祖国復帰運動を行った。こうした運動が実り、昭和47年5月15日、沖縄は日本復帰した。





全国から見た沖縄県

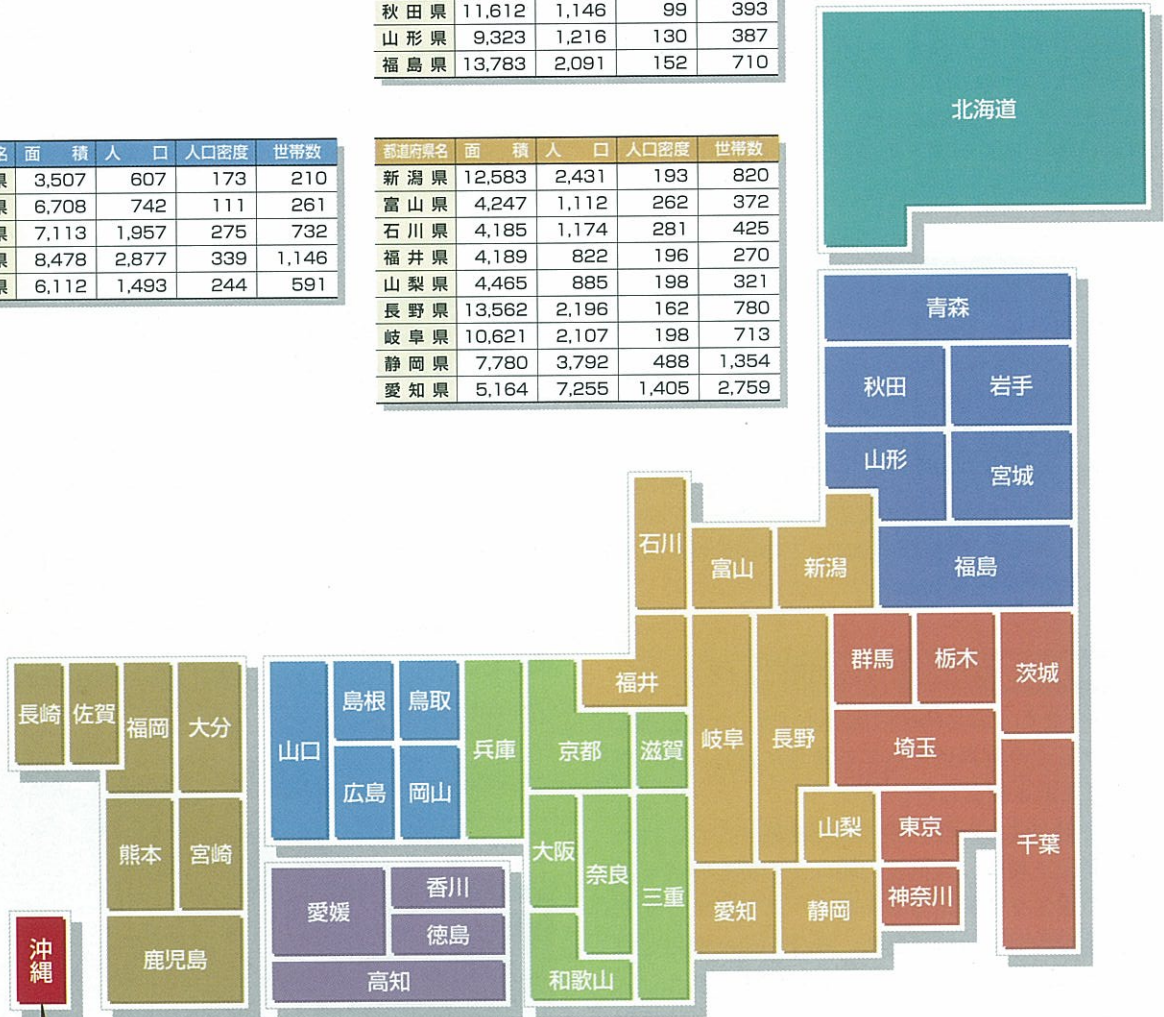
※各データは「沖縄県勢のあらまし」(平成19年2月)参照

全 国				
項目	面 積	人 口	人口密度	世帯数
単位	km ²	千人	人/km ²	千世帯
年度	H17.10.1	H17.10.1	H17.10.1	H17.10.1

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
北海道	83,456	5,628	72	2,380
青森県	9,607	1,437	150	511
岩手県	15,279	1,385	91	484
宮城県	7,286	2,360	324	865
秋田県	11,612	1,146	99	393
山形県	9,323	1,216	130	387
福島県	13,783	2,091	152	710

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
鳥取県	3,507	607	173	210
島根県	6,708	742	111	261
岡山県	7,113	1,957	275	732
広島県	8,478	2,877	339	1,146
山口県	6,112	1,493	244	591

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
新潟県	12,583	2,431	193	820
富山県	4,247	1,112	262	372
石川県	4,185	1,174	281	425
福井県	4,189	822	196	270
山梨県	4,465	885	198	321
長野県	13,562	2,196	162	780
岐阜県	10,621	2,107	198	713
静岡県	7,780	3,792	488	1,354
愛知県	5,164	7,255	1,405	2,759



沖 縄 県		
面 積	2,275 km ²	44位
人 口	1,362 千人	32位
人口密度	599 人/km ²	9位
世 帯 数	488 千世帯	30位

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
徳島県	4,145	810	195	298
香川県	1,876	1,012	540	378
愛媛県	5,677	1,468	259	583
高知県	7,105	796	112	324

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
茨城県	6,096	2,975	488	1,032
栃木県	6,408	2,017	315	709
群馬県	6,363	2,024	318	726
埼玉県	3,797	7,054	1,858	2,650
千葉県	5,157	6,056	1,175	2,325
東京都	2,187	12,577	5,751	5,891
神奈川県	2,416	8,792	3,639	3,592

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
福岡県	4,976	5,050	1,015	2,010
佐賀県	2,440	866	355	287
長崎県	4,095	1,479	361	554
熊本県	7,405	1,842	249	668
大分県	6,339	1,210	191	469
宮崎県	7,735	1,153	149	451
鹿児島県	9,188	1,753	191	725

都道府県名	面 積	人 口	人口密度	世帯数
三重県	5,777	1,867	323	675
滋賀県	4,017	1,380	344	479
京都府	4,613	2,648	574	1,079
大阪府	1,894	8,817	4,655	3,654
兵庫県	8,395	5,591	666	2,146
奈良県	3,691	1,421	385	503
和歌山県	4,726	1,036	219	385